

公共施設適正配置に関する市民ワークショップ 第1回を開催しました

8月24日（金）から9月11日（火）にかけ、八幡地域を皮切りに7地域において『公共施設適正配置に関する市民ワークショップ』を開催しました。

第1回目今回は『社会教育施設』のうち、「市民会館※1」と「生涯学習施設※2」について、市担当部署から施設の現状と課題、実施した施設評価の結果、現時点での市の考え方や議論のポイントを示した上で、参加者のみなさんに議論していただきました。

なお、市が示したそれぞれの施設分野の方向性（案）と、参加者のみなさんから寄せられた主な意見を以下に掲載します。

※1：固定席を備えたホールを持つ施設（5施設）：

郡上市総合文化センター、白鳥文化ホール、たかす町民センター、日本まん真ん中センター、やまと総合センター

※2：地域公民館に図書館機能を備えた施設等（10施設）：

大和生涯学習センター、白鳥ふれあい創造館、郡上市図書館たかす分室、美並北部コミュニティセンター、

美並南部コミュニティセンター、明宝コミュニティセンター、和良町民センター、

（郡上市総合文化センター、たかす町民センター、日本まん真ん中センター）

（ ）内は市民会館の機能も有する複合施設



日本まん真ん中センター

市民会館について

全体の方向性（案）	市民のみなさんから寄せられた主な意見
市民の文化活動や自主サークル・公民館活動等の交流・発表の場の機能に加え、質の高い芸術・文化に触れる機会を提供することも文化ホールの役割といわれていることから、市内5か所にある文化ホールの役割を明確にし、施設のあり方を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> ●ホールを集約（5施設⇒2施設または3施設）とした場合には、移動手段（交通）の確保が必要。 ●ホールのない地域は、行きたくても遠いと感じる。 ●大きなホールは市に一つで良い。 ●企業など民間の利用を含めてもっと活用があると良い。 ●文化事業やイベント、自主事業を増加してほしい。 ●使用料に差があり使用をためらうことがある。

生涯学習施設について

全体の方向性（案）	市民のみなさんから寄せられた主な意見
市民の学習活動や趣味・生きがい活動、文化活動などの場として、また、地域全体の課題を整理し、課題解決のための情報収集や情報提供を行うとともに、実践活動を繰り返すためのノウハウを学習する拠点として位置づけ、地域の中核的な施設として各地域（旧町村ごと）に1か所設置します。 センターの機能、公民館との関係、組織・体制、管理運営方法などのあり方について、地域における「まちづくりのコーディネーター」としての振興事務所との役割を明確にして検討します。	<ul style="list-style-type: none"> ●古い時代の設計であり、また老朽化による使い勝手が悪くなっている。 ●見直しを行っても、一定程度の会議室（大小）を保有する必要がある。 ●他の施設と複合してより活用できる施設を目指すとして良い。 ●以前は予約できない状況もあったが、現在ではほとんど使われていない。人口の減少が原因なのか、市民の意識や活動が変化したのか。 ●図書館はあるが、置いてある本が少ない。図書館を学校と共用する方法もあるのでは。 ●生涯学習に関する講座等の内容をどのように広げていくかが難しい。 ●手入れが行き届いていない。



和良町民センター

また、全般的なものとして「長期的なビジョンや計画的な整備が必要では」「受益者負担は当然である」といった意見も寄せられました。

市では、引き続き12月まで、新たに検討テーマを設けながら各地域でワークショップを実施していきます。これらの検討経過についても、広報郡上などでお知らせします。

◆公共施設の適正配置に関するお問合せ

市長公室企画課 TEL 67-1831